



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 津田 智康

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

加小っ子だより

令和7年9月29日 No.10

5年生が4月に植えた苗が実りました！

9月5日（金）に予定をしておりました稲刈りは、台風による雨の影響のため、安全を考慮し教員が代行しました。何卒ご了承ください。しかし、その後の学習では、稲の管理をしてくださっている地域の方のご協力のもと、大変貴重な学びを得ることができました。まず田植えをした一株からどれほどの稲穂が実るのかという観点から、稲の豊かな成長について教えていただきました。また、9月16日（火）には、地域の方から「命の一粒」というテーマで授業をしていただき、お米一粒一粒の大切さについて学びを深めました。子どもたちは精米されたお米を量り取る作業にも取り組み、手間をかけて収穫されたお米の大切さと食べ物への感謝の気持ちを育むことができました。



運動会へ向けて練習中

10月11日（土）実施予定の運動会が近づいてきました。9月当初より体育館等を利用して集団演技の練習が始まりました。子どもたちは、先生の指示のもと、いい演技ができるよう互いにアドバイスをし合い一生懸命練習に励んでいます。



マックスバリュを 3 年生が見学

3 年生が9月 18 日（木）午後から「マックスバリュ加佐登店」を見学しました。2つのグループに分かれ、店内とバックヤードを見学しました。店内では地元で採れたものや作られているものを目立つところに置き、地元のものを買っていただきやすくする工夫について知ることができました。また、バックヤードでは、パンを発酵させたりフライを揚げたりする部分や冷凍庫を見学しました。最後には店員の方に子どもたちが質問をして多くのことを学ぶことができました。



すてきな、つながり

ある日の朝、登校の見守りをしていたら「校長先生、お守りが落ちていました」とある子が拾ってくれました。学校に戻り、各教室に落とし子がないか聞いて回ると、ある学級の介助の先生が「今朝はあいさつ運動に行っているので、今は全員いません」と伝えてくれました。さらに、別の教室で「妹が落とした」ことを教えてくれました。その妹の学級は、介助の先生があいさつ運動にいと聞いた学級です。その学級で再度聞いてみると、その子のものでした。落とし主が早く見つかってとてもうれしく感じました。



今回の出来事をふりかえると、①落ちていることに気づき拾って届けてくれた子、②学級にいない子がいることを教えてくれた先生、③落として困っている子がいることを教えてくれた子、この3人が情報を伝えてくれたから落とし物を早く届けることができました。

このように、世の中は、いろいろな人がつながってうまく助け合って生きていると感じた出来事でした。

朝のあいさつ運動

本校が目指す学校像は「安心して過ごせる学校『毎日が楽しく、明日が待たれる学校』」です。この目標を実現するための大切な取り組みの1つに「自分からあいさつ」を合言葉にしています。朝から気持ちの良いあいさつであふれる学校を目指し、現在、学年ごとで各学級にあいさつを広める運動をしています。あいさつは、人と人をつなぎ、学校に安心感と活気をもたらします。ご家庭におかれましても、ぜひお子様と一緒に「自分から進んであいさつする」ことへ取り組んでいただき、学校、家庭、地域全体で子どもたちの豊かな学校生活の応援をしていただけるとありがたいです。



「まもってくれてありがとう運動」のモデル校に指定されました

この運動は、皆さんが横断歩道を横断するときなどに、停止してくれた車の運転手さんに「ありがとう」と言ったり、頭を下げたりしてお礼の気持ちを表すことで、相手の方も「止まる」という気持ちを起こさせ、安全運転意識を高め、交通事故をへらすことを目的としています。これから日が暮れるのが早くなり、車の運転手も歩行者に気がつきにくくなってきます。横断歩道ではしっかりと手を上げて運転手に気づきやすくするとともに交通安全に気を付けていきましょう。



PTA 除草作業ありがとうございました

9月20日(土)の除草作業では、小雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、多数の保護者の皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。PTA会長から終了の合図があった後も、「少しでも学校をきれいにしたい」という思いをお持ちになったのでしょうか、時間を過ぎてても最後まで丁寧に作業を続けてくださる姿に、大変感動いたしました。皆様の温かいご協力のおかげで、校庭は見違えるほどきれいになりました。この気持ちの良い環境の中で、10月の運動会を開催することができます。重ねてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



一緒に非認知能力を高めましょう！

毎日、子どもたちと接していると「ほんとうにかわいいなあ」と感じることもあれば、「なんで、言うことをきいてくれないの?」と悩み、時には腹立たしく感じることもあるかもしれません。そのようなときのヒントとして役に立つ言葉がけや声掛けをお知らせします。

1 子どもが夢中で何かに取り組み、大人の感覚で

「その遊び、そろそろやめたら?」と感じたとき

→子どもが夢中になっているときは「集中力がつく機会」ととらえて、危険なことがない限りできるだけ見守りましょう。何かをやっているときに止められると激しく抵抗する場合があります。終わった後で「とても集中していたね」とねぎらいの言葉がけができるとさらに良いようです。

2 もう少し粘り強くやってほしいとき

→宿題など「教えてあげる」と伝えてもなかなかやろうとしてくれない時があるかもしれません。そのようなときは、少しずつが大切です。「ここまでやったら教えてね」と焦らずやはり見守りましょう。「ここまでよく頑張ったね、また今度やろう」はタブーです。子どもが難しいと感じていることが何かをとらえることが大切なようです。

(「非認知能力を伸ばすおうちモンテッソーリ77のメニュー」参考に作成)

